浜松 南高新聞

発行所
県立浜松南高校新聞部
静岡県浜松市米津町
TEL(053)441−1486㈹
FAX(053)442−0148
印刷
富士印刷株式会社

雨降る中での一体感

―体育大会―

十月三日（水）、体育大会が行われた。午後からは、かなりの雨降りとなったが、雨ニモ負ケズ、盛り上がった一日を振り返ってみよう。

男女総合優勝　緑組（17・20・37）

優勝した各HR委員長に体育大会の感想を言ってもらいました。

37HR

一年生にとっては初めての、三年生にとっては最後の体育大会。一番意気込んでいたのはやはり三年生でした。もちろん我が37HRも例外ではありません。優勝を目差して、一人一人、自分の力を出し切って頑張りました。

このクラスは、元気で明るく、しかも男女の仲も良いので、応援でも団体競技でも一致団結することができました。

そして、その上で、同じチームの一年生から三年生まで協力できたことが、この優勝に結びついたと思います。

20HR

今考えてみると20HRは体育大会の前のかなり早い時期から結構まとまっていた気がします。

選手を決める時に、最後のほうで少し手間取ったりはしたものの結構スムーズに決めることができたと思います。

また、本番では100m走や200m走などの個人競技でもリレーや綱引きなどの団体競技でも全員が自分の力を精一杯出して楽しんでいたと思います。

そのかいあって、とても良い結果を出すことができてとてもうれしいです。

悔いの残らなかったすばらしい体育大会でした。

17HR

『総合一位』という大きな喜びを手中に収めて、今年の体育大会は終わった。

僕たち一年生にとって、高校での体育大会がどの程度盛り上がるものなのか、全くわからなかったが、男子リレーと、100M決勝は圧巻だった。リレーでは17HRは、一年の二組目の中ではトップだったが、決勝に出ることはできなかった。三年生は、とても速かった。100M決勝も凄かった。

最後に、17HRは知的クラスではなく、運動クラスであることがわかった。

パワーで引き切った―綱引き

今大会のメインイベントの「綱引き」。

その「綱引き」は第一回戦から白熱した試合となった。

白組、赤組、黄組、橙組、黄緑組、紺組、緑組が次々と敗れ去っていく中で、決勝に「紫組（18HR、26HR、38HR）」と「青組（13HR、25HR、33HR）」が勝ち上がってきた。

この決勝も白熱し、大熱戦の末にパワーで押し切った、ではなく、引き切った「紫組」がこの栄誉ある「KING・OF・THE・TSUNAHIKI」に輝いた。

しかし「紫組」だけではなく、準優勝の「青組」も第三位の「緑組」もそして他の「白組」、「赤組」、「黄組」、「橙組」、「黄緑組」、「紺組」もすばらしい試合をくりひろげた。

この「綱引き」という単純だが奥の深い競技は、みんなの頑張りにより、いっそう盛り上がり、運動大会をよりいっそう盛り上げたことは言うまでもない事実であった。

好評　新種目

なんと今年から体育大会の競技に「アメーバ競争」と「意地悪二人三脚」の二つの新種目が加わった。

アメーバ競争は十人一組で足をしばって円形になりゴールを目指すものだ。この種目は、十人の息を合わせなければ前に進めず、転んだりしてしまう。体育大会までに練習をしていたクラスもあったようだが、成果はどうだっただろうか。本番ではサクサク進むクラスもあったし、すぐ足がもつれるところもあった。周りで見ていると、じれったくなりそうだったが、実際にやってみるとかなり難しそうだった。

二つ目の意地悪二人三脚はスタートして、始めに青・赤・黄のうち一枚のカードを引いて、途中で生徒会役員の人が示す色と違っていたら、もう一度戻って同じ色のカードを持って来なければならない。競技者が間違えた時、見ている人は楽しそうだったが、やっている人は大変だった。

二つの新種目は、どちらも好評で盛り上がったのではないか。

最善をつくそう

Memories

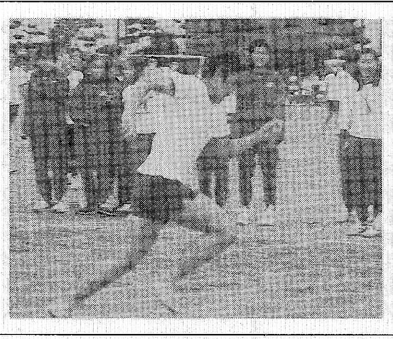
体育委員長
鈴木健司（29）

ハイ、みなさん、寒風のなか如何お過ごしでしょうか？体育委員長の鈴木です。

突然ですが、今回の体育大会、どうでしたか？今回の体育大会のメインイベントだから、後期生徒会執行部共々全力で頑張りました。皆さんの心に残る様な大会であり得たでしょうか？…何？もう忘れたって？仕方無いな。思い出させてあげるよ。

今回は千、千五百mと走り幅飛びがなくなったという事で、リレー種目の数がふえました。これで選手登録の際にゴタゴタ（実況すると、お前昨日休んじゃダメだよ―ゴメン―とりあえず千mになったからがんばってくれよ……）がなくなっただろう、と思ったら、登録用紙そのものをミスってしまって水のアワ、皆様には多大な御迷惑をお掛けしました。次の方の為の教訓になったと考えれば、あながち無駄ではなかったかな？良かった。

今回の体育大会は、雨がふってきたこともあって、シメる事ができなかった。他のミスも悔しいが、本当に悔しいのはそれだ。言うなれば、まだ僕の中の大会は終われなかった。だからこそ、みんなの心に残っていると嬉しいんだ。



男子HR対抗リレー 優勝 30HR

優勝した30HRのメンバーに一言感想を言ってもらいました。

まあ、男しかいないし…
岩崎大輔

（リレーは楽しい）
アサオは絶対ヘタレ、ヨウヘイとおっくんはウイナーだったもんで、とりあえずボクもヘタレ。
西田航司

やっぱり30が勝ちでしょ
河口祐一

自分は何もしてません。ただ抜かれないように走っただけ。あっ、へたれの浅尾の靴のおかげかな。この優勝だけがこのクラスの特権かも……
中山広樹

ヨカッタ
みなさまの
おかげでかてたで
（かなり字あまり）
杉山大一

河合勝利の俳句

アサオががんばったおかげです。
長浜聖

あのレースならアンカーはだれでもよかったんじゃないだろうか。それがたとえ浅尾であったとしても…。
友田真裕

結果発表

個人種目

（男子百メートル）
一位　杉山大一（30）
二位　市川直樹（37）
三位　角田政紀（38）
高澤正喜（38）
藤田高浩（30）

（女子百メートル）
一位　赤池佳名子（33）
二位　鈴木美咲（12）
三位　上嶋香代（10）

（男子二百メートル）
一位　小柳純一（20）
二位　櫻井暁光（39）
三位　山村彰吾（37）

（女子二百メートル）
一位　伊藤さやか（37）
二位　相曾美輝（22）
三位　柴田麻由（12）

リレー

（男子スウェーデンリレー）
一位　緑組（17・20・37）
二位　紫組（18・26・38）
三位　橙組（11・28・31）

（女子スウェーデンリレー）
一位　赤組（12・22・32）
二位　橙組（11・28・31）
三位　黄緑組（10・21・30）

（男子HR対抗リレー）
一位　30HR
二位　31HR
三位　32HR

（女子チーム対抗リレー）
一位　緑組（17・20・37）
二位　青組（13・25・33）
三位　橙組（11・28・31）

（男女混合リレー）
一位　黄緑組（10・21・30）
二位　紺組（14・24・34）
三位　赤組（12・22・32）

（綱引き）
一位　紫組（18・26・38）
二位　青組（13・25・33）
三位　緑組（17・20・37）

総合

（男子総合）
一位　緑組（17・20・37）
二位　橙組（11・28・31）
三位　黄緑組（10・21・30）

（女子総合）
一位　赤組（12・22・32）
二位　青組（13・25・33）
三位　橙組（11・28・31）

（男女総合）
一位　緑組（17・20・37）
二位　赤組（12・22・32）
三位　橙組（11・28・31）

最後に一言

今年の体育大会の特徴は、長距離種目、走り幅跳びがなくなり、リクレーション新種目が二つ加わったことだ。また、リレー種目が増えて、たくさんの人がリレーに出場したと思う。このことにより、みんなで応援する一体感が得られたのではないか。

途中で雨が降ってきたにもかかわらず、みんな精一杯、それぞれの種目で競い合っていたようだ。反省点を生かしつつ、来年もまたチーム一体となって過ごす体育大会ができればいいと思う。

部活動報告

●野球
秋季県西部大会
二回戦　0−4興誠

●サッカー
選手権県大会
二回戦　3−0富士
三回戦　1−0大井川
二次リーグ　0−2清水市商
1−2藤枝東
2−1聖隷学園

●男子バスケット
選抜西部大会
11位決定戦69−67日体
選抜県大会
一回戦　29−106沼津学園

●女子バスケット
選抜西部大会
決勝54−69誠心
準優勝で県大会出場
選抜県大会
一回戦　63−45相良
二回戦　58−56富士宮北
三回戦　42−124常葉学園

●男子テニス
西部新人戦
シングルス斎藤14位
県大会出場
県新人戦
シングルス
一回戦　斎藤6−2
二回戦　2−6

●女子テニス
西部新人戦
ダブルス
笹田・山口組優勝
森山・浦川組11位
県大会出場
シングルス　渥美2位
笹田14位
県大会出場
県新人戦
ダブルス
笹田・山口組3位
シングルス　渥美3位
笹田8位
新人戦県大会
団体3位

●男子バレー
選手権西部大会
一回戦2−0浜松城北
二回戦0−2袋井商

●女子バレー
選手権西部大会
二回戦0−2浜松工業

●男子ソフト
新人戦
一回戦9−0掛川工業
二回戦0−8沼津学園

●水泳
東海大会
千五百m自由
28HR　忠内芳光　8位
四百m　忠内　2位
千五百m　忠内　2位
二百m個人メドレー
21HR　松島梨香　3位
県新人戦
四百m自由　忠内　2位
二百m個人メドレー
松島　7位
千五百m自由忠内　1位
四百m個人メドレー
松島　6位

●柔道
浜北市柔道大会
一回戦　4−3　農業経営
二回戦　0−7　浜工A

●陸上
西部新人戦
三千mSC藤田雅也優勝
五千m　藤田雅也　10位
百m　水谷真理子8位
二百m　水谷真理子12位
県新人戦
三千mSC藤田雅也優勝
百m　水谷真理子6位
二百m　水谷真理子準決

●男子ハンドボール
県大会
準決勝　5−17　富士
三位決定12−11　清水水高

●女子ハンドボール
県新人戦
一回戦　15−13　吉原

●美術
西部高校美術展
奨励賞
28HR　天野知美
23HR　内山実香
19HR　高林智香

●吹奏楽
高校吹奏楽コンクール
小編成の部　県5位
マーチングコンクール
ニューカマー部門　東海大会　優秀賞

この二学期、多くのクラブがよい成績を収めている。これからの季節は、春に向けて実力を養う期間である。それぞれが納得いくまで練習をし春に向けて実力と自信をつけていってほしい。それぞれの競技、あるいは分野での活躍を期待しよう。

四千冊の蔵書数　白鷗書院

国語の杉本完治先生がご自宅（磐田郡福田町）近くの工場あとに書庫をつくられた。書庫の本はすべて杉本先生が時間をかけて買い集めたということだ。本の置き場所がなくなりこのたびつくられた書庫―「白鷗書院」。

今回この書庫についてインタビューしてみた。

杉本完治先生

Q「白鷗書院」という名前の由来は？

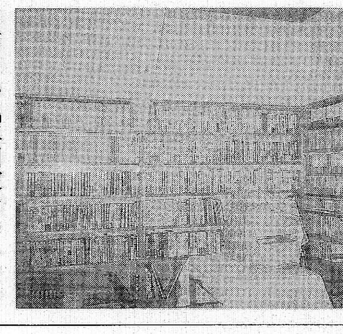
A私の家のまわりにいる白鷺の「白」と、わが尊敬する「鷗外」の「鷗」の一字をいただいて「白鷗書院」です。

Q「白鷗書院」をつくった理由は？

A家が大きな家ではないので、本の置場所がなくなったからです。

Qどこに作りましたか？

A年よりの家で、以前織布工場をやっていましたので、その建物を借りて作りました。書庫の広さは概ね五〇平米です。



Q「書院」の蔵書数は？

Aだいたい三七〇〇〜四〇〇〇冊の間。

Q将来はどのように？

A鷗外関連の書籍が現在三〇〇冊あまり。これを一〇〇〇冊ぐらいにはしなければ。それぐらいになれば、何とか「専門家」のハシクレぐらいにはなりましょう。それと、今書庫にコンピューターを置いて、地域のみなさんにも、常時ワープロやインターネットの御案内をしています。できる限り早期に自分のホームページを開き、図書館ネットを作ったり、「専門情報」を提供したいと思っています。

Q先生にとって書庫または本とは？

A書庫も本も「森の泉」といったところでしょうか。

Q「お奨めの一冊」といったら、どんな本？

A「一言芳談抄」にでてくる、日吉のお社で鼓を打つなま女房に向けられたお尋ねのような質問ですね。でも、どうしてもというなら、「鷗外」「漱石」かな。

来年の夏に向けて

第三十回県高校新人水泳競技大会の男子千五百メートル自由形で大会記録を31秒57も縮める16分41秒51で優勝した忠内芳光君（28）にいろいろインタビューしてみた。

Q1水泳はいつ頃はじめましたか。

A小学校五年生ぐらいからクラブではじめたのがきっかけです。

Q2誰に影響されて水泳をはじめたのですか。

A父です。僕の父は水泳においては厳しいですけど、家ではとてもやさしいです。

Q3家でのトレーニングは何をやってますか。

A主に陸上トレーニングです。具体的には、腕立てなど、基礎的なものを、合計2時間半ぐらい毎日やっています。

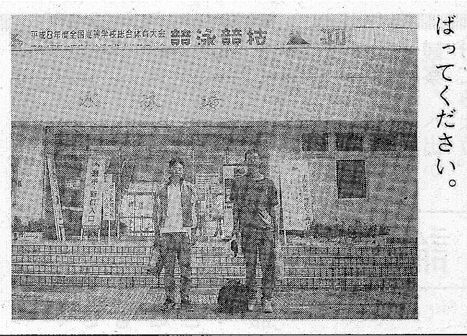
Q4来年のインターハイの抱負は？

A入賞めざしてがんばりたいと思います。

Q5最後に忠内君にとって水泳とは何ですか？

A受験勉強です。

ありがとうございました。これからも気を抜かずにがんばってください。



季節感を十七文字に

家庭科の小野田恵美先生は俳句がご趣味とうかがった。そこで、いくつか見せていただきたいとお願いしてみたところ、大阪、四国へ行かれた時のものをいくつか見せてくださった。聞くところによると小野田先生は十年前くらいから、俳句も、季節感を大事にしたいとつねづねお思いになっていて、季節に敏感になるようにと思って始めたそうだ。月に六つぐらいお書きになっていて、雑誌などに投稿なさっているそうだ。これからもよい俳句をお書きになって、私たちの国語の先生もかねていただけるとうれしい。

春　四国路へ
難波より熟内津まえの春潮路
子規はるか朧の坂を湯に下る
山越せば芽柳踊らす土佐の風
松籟や龍馬見下ろす春の海

校内トピックス

山川先生　近況

十月八日で、国語科の山川標人先生が、静岡県立湖南高等学校へ転任された。

先生は昨年の二学期から、産休に入られた松島先生の代わりに着任されていた。

生徒とフレンドリィに話をされ、授業では、みんなを笑わせたり、あいまにためになるおもしろい話をしてくださったりユニークな先生だった。二年生は、特にお世話になった。

つい先日、湖南高校からはるばるこの取材のためにおこしいただいた。そこで南高生にメッセージは？というと、質問に対して先生は、

「南高生は、おとなしくて元気がないように、今でも感じています。騒ぐ時にはもっと〝大騒ぎ〟しても良いと思います。その後で、勉強も同じように、思い切り集中してすれば勉強ももっと能率よくできます。

〝生活にリズムとメリハリを。〟あと、近くにいますので、どこかで見かけた時は、声をかけてください。」と、お馴染みの笑顔で、答えてくださった。

住所等も変わっていないとのこと。通勤距離は二倍ぐらいになったようですが、湖南高校でも、元気でがんばってくださいと、インタビューを終えた。

母親となって

産休を終え復帰された、国語科の松島昌代先生に、お子さんへの思い、母としての思いを語っていただいた。

高齢出産に片足をつっ込んだ昨年の秋、私は母となった。さまざまな不安や迷いが、なかったわけではない。しかし、生まれた途端、そんなものはどこかへ吹き飛んでしまった。

かわいい、かわいい、かわいい、とにかくかわいい。無条件でかわいい。相手は赤ん坊。

もちろん、自分のことは、乳を飲むことと、排泄以外何もできない上に、こちらが思っているようには眠ってくれず、泣いてばかりいる。それでもかわいい。子を持つ前でも、さまざまな物に対し「かわいい」と思うことは、度々あった。が、我が子に対するかわいさは全く違う。言葉には言い表し難いが、人間にはこういう感情もあるのだ、と親になって初めて知った。地球上の誰かしらの子である私たちも、親がそういう思いを持って育ててくれたのかと思うと、誰に対しても何に対しても、いとおしく感じられ優しい気持ちになる。

また、子を持つと人生や生活が変わるというが、私の場合は、物の見方が変わったり、今まで興味のなかったものにも目が向くようになった。子どもは、私の世界も広げてくれている。

「親」であることは、とても大変で辛いこともあるが、毎日が楽しく、物凄く幸せなことだと、つくづく思う。

日常生活を離れて

―研修旅行・山の村―

研修旅行

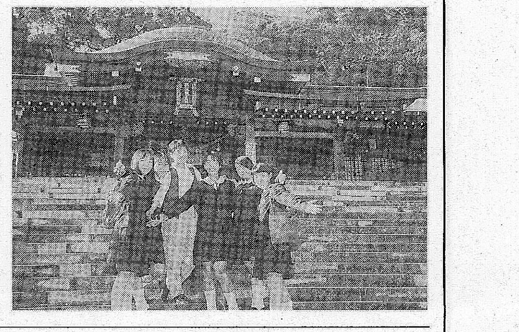
十月二二、二三、二四、二五日の三泊四日で、二年生は、大阪、九州への研修旅行へ行った。浜松駅、新幹線改札口に、A（熊本）B（鹿児島）C（長崎）D（別府）コースが、七時四十五分、E（門司）コースが、八時三十分に集合し、それぞれ、第一目的地の大阪へと出発した。新幹線内での時間もあっという間に過ぎ、大阪駅に着くと早速、班別研修ということで、班ごとに作成したコースの地図や計画表を片手に各々の目的地へと出発した。初めに行った大阪の繁華街、道頓堀では、たまにテレビで見る景色を背に観光客が写真を撮る光景もちらほら見られた。アメリカ村では、歩き疲れ、三角公園で甲賀流たこ焼きを片手に大阪という活気あふれる街を実感した。店の中に入ると笑顔で店員が近づいて来る。友達のように大阪弁で大阪の街を紹介されたりして、大阪人の人情を肌で感じることができた。

グループ別研修を終え、Dコースの一クラスは、フェリーさんふらわー号に、Eコースの三クラスは、阪九フェリーに乗り込んだ。途中、思わず目をみはる神戸の百万ドルの夜景が最高だった。午前一時頃になると、瀬戸大橋の下を通過し、はじめて見る大橋に感動と寒さでふるえそうになっている手でシャッターを切った。寝台特急車中泊のA、B、Cコースのクラスでは、退屈しのぎに見る瀬戸内海が最高だった。

二日目以降は、それぞれのコースによって目的地を変えての研修をした。

バスでの長時間移動も多くなり、四日目にはバスガイド嬢とも仲良くなった。別府地獄温泉の間欠泉と阿蘇山の火口の煙には、自然の脅威を思い知らされた。長崎のグラバー園、オランダ坂、原爆資料館では、日本の歴史を詳しく知った。そして、新地中華街で食べた本場の長崎ちゃんぽんは、量が多いわりにスープまで飲んでしまう程おいしかった。ビードロ専門店に立ち寄り種類の多さにどれを買うか迷う女子もいた。

各ホテルでも大きなトラブルや事故もなく旅行を終えることができた。今回の旅行でつちかった協力性と団結力を今後の生活に生かしたい。



集団宿泊訓練

一年生は十月二十三、四、五日に富士山麓山の村へ宿泊訓練に行った。今年の山の村は三日とも天候に恵まれて活動がスムーズに行われた。まず体験したのは薪割りである。簡単と思われたが実際やってみると、講師の先生がやって見せてくれたようにはうまく割ることができなかった。みんな危ない手付きで、薪を割っているのを注意されながらも、最後までやりとげることができた。印象に残っているのは七宝焼である。銅板に特殊なガラスを塗り、高温で焼きあげて作るアクセサリーのようなものだ。ガラスには半透明な色を出すものと、絵の具のような色を出すものがあり、個人の好みによって色々な色や模様を描き出すことができる。当初は到底ガラスには見えない妙なものが出きてきて戸惑ったが、講師の先生の話を聞き、銅板に塗り上げ焼いてもらうと、とても奇麗な七宝焼ができ上がり、この山の村での記念とするにふさわしいものとなった。自炊では、みんな慣れない手付きで野菜を切ったり、米を炊いたりして、料理を作っていた。出来上がった料理は見た目や味よりも、みんなで作ったという充実感が感じられた。夜には、ナイトウォークラリーや、肝だめしなど各クラスごとに決めたレクレーション活動を楽しんでいた。そんなことで、あっという間に過ぎてしまった三日間だったが、みんなにとってとても思い出深いものになっただろう。

自らの言葉で語る人間に

人を語る

中村尚介先生

―なぜ教師になったのですか。

父が英語の教師だったので、その姿を見て一番身近にいた人の影響を受けたのではないかと思います。割と早くから教師になろうと考えてました。

―ホームスティの経験があると聞きましたが、何かホームスティ先での思い出は？

イギリスに20歳の頃から一年間ほど行っていました。まず、最も日本と違っていたのは食事関係ですね。僕のホームスティ先はまかないつきだったんだけど、晩御飯の時間が五時と、とても早かったことと、御飯がそんなにおいしくなく量も少なかったということです。だけど、夜九時頃になるとティータイムというかビスケット類と紅茶を毎日のように出されました。そして食後のデザートはスポンジケーキにカスタードクリームをたくさんのせた甘ったるいケーキだった。日本へ帰る時は五～六キロ太ってました。ほかには中古の車を買ってイギリス中をまわった思い出ですね。イギリスでは郊外に行くと信号のない交差点が多く、代わりに交差点の真ん中に島があってそこをぐるぐる回りながら右や左に行ったりする。そして、入ろうとする車は中にいる車を優先する。互いに個人を尊重しているなと思いました。また日本では危険な場所はスピードや追い越し禁止などの制限があるが、イギリスでは危険な場所はスピードが無制限になっている。一人一人が自分で責任もって走れということで、そんなところが日本にはないいいところだと思いました。

―バスケットの思い出は？

中学・高校とバスケット部だったんだけど、中学のときすごく厳しい先生で、とてもきつい練習でしたが、そのおかげで県の大会では二位でした。高校では中学の苦しい経験をもうしたくなかったので初めは入部しなかった。でも、学校が終わってすぐ家に帰ってぼけっとしてる目標のない生活がいやになり、二年になって、また始めました。

―南高校の印象と言いたいことは？

前回の南高新聞の新任紹介でも、授業中の顔の表情が乏しいということを書いたのだけれど、素直でおとなしい、裏返して言えば、一人一人が集団の中に埋没してしまっているというか、人と同じことをやっていれば、それで満足して、自分でこれをやりたいんだというものが出てこないんだ。

だから、南高校の生徒のみんなに言いたいことは、一人一人が自分でやりたいことを見つけてほしいということです。集団の中にうずもれているのじゃなくて、集団の中でも、自らの言葉で、自らのことを語れるような人になってほしいということです。

スニーカー盗難にみる
現代若者考

近ごろ、全国で米国の靴メーカー、ナイキ社のバスケットシューズ「エアマックス」を狙った盗難事件や詐欺事件が多発している。

問題となっている「エアマックス」はナイキ社製品のうちで一番人気のシューズで、高圧ガス入りの透明クッションを靴底に入れたものである。そのうち、特に異常な人気となっている商品は九五年モデルで、定価一万五千円が二～三倍の値段、場合によっては十万円近くに跳ね上がったものもあるという。

このような異常人気に乗じて静岡県内でも、多数の盗難事件・詐欺事件が発生して問題視されている。

まず静岡市長谷の県立静岡高体育館二階にある男子バスケットボール部の部室で同社製のシューズ十三足とイタリアのスポーツ用品メーカーフィラ社製のシューズ一足が盗まれているのが発見された。また、静岡市田町七丁目の県立静岡商業高でも、男子バスケットボール部の部室裏側のガラスが割られナイキ社製シューズ七足がなくなっているのが見つかった。静岡市内の高校で一度にこれだけ多数盗まれたのは初めてという。

次に、ナイキ社製のエアマックスを安く売るという案内を情報誌にのせ申込者には、普通の運動靴を送ってだましていたとして静岡県の公立高の男子生徒（16）が詐欺容疑で逮捕された。

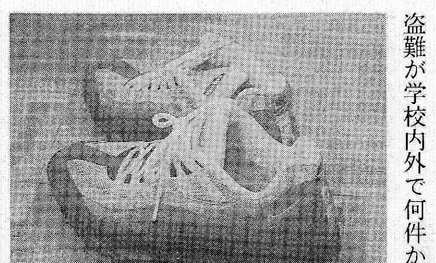
調べによると男子生徒は個人売買情報誌に「95エアマックス安く売ります。」という案内を掲載。それに申し込んだ奈良市内の公立高の生徒二人が、五足分の代金として十一万六千円を預金口座に振り込んだ。男子生徒は「こづかいが欲しかった。」と話している。後の調べによると、被害は約二十都道府県の約五十人に及び総額約百万円にのぼるとみられている。

このような事件が何度も起きるほど、ナイキ社の「エアマックス」の人気は高く、需要も大きい。

これは、マイケル・ジョーダン等の有名人気スポーツ選手が履いているという理由による。もちろん、機能性が高いというのが大前提ではあるが…。

それにしても、大金を支払い手に入れ、大切にしている靴を「あの靴を手に入れたい」という自分の欲望に負けて、短絡的に盗みという常識、いや人道を外れた行為にはしり、自分の手を汚れたものにしてしまうというのは悲しむべきことである。

今、日本全国でこのような現象が見受けられる。残念なことに、南高でもシューズの盗難が学校内外で何件か報告されている。



外部からの侵入者がいないというわけではない。だから、生徒が行なったとは言い難く、また信じたくはない。

また、自転車の盗難もある。駅の駐輪場をはじめ、被害にあった人も多いだろう。

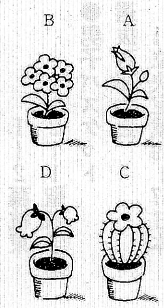
世の中には欲望を抑えきれない人が多く存在する。彼らの理性を失った行動を阻止するために、警察や罰則というものが存在する。それにも拘らず彼らは誤った行動にはしる。自分の悪い行いをごまかし、他人に責任転嫁して、本当はよくないのに、よしとして安心していないだろうか。たとえ現代が悪い行いを黙認してしまう風潮であっても、我々にはそれを認めてしまってよいのだろうか。我々がいずれ、前の世代からこの社会を受け継ぐという事をよく考えてもらいたい…。

私の心を教えてほしい

―心理テストを考える―

心理テストというのは自分でも気づかなかったあなた自身を発見する手助けをしてくれます。あまり深く考えずに気軽に挑戦してみましょう!!

1.あなたは、南向きの出窓がある部屋にいます。この出窓に飾るとしたら、A～Dの４種類のうち、どの鉢植えがいいと思いますか？ひとつ選んで下さい。



診断◉あなたの正直度は？

〈Aを選んだ人〉
あなたは基本的に正直者です。ただ自分を善人に見せたいという欲望が強いのでブリッ子になりがちです。

〈Bを選んだ人〉
たくさん咲いた花は「みんなに愛されたい」という願望の表れです。ついつい相手に合わせて心にもないことを言ってしまったりと、後で後悔する言動が目立ちます。

〈Cを選んだ人〉
あなたは正真正銘の正直者。ただしあまりに正直なため人付き合いの潤滑油となるお世辞や冗談が言えません。疎ましがられることも…。

〈Dを選んだ人〉
下を向いた花は心を見透かされたくないという警戒心の象徴です。コンプレックスを持っているのでは？あなたは秘密主義のタイプのようですね。

2.あなたが友人のマンションに遊びに行くと、友人は散らかった部屋の中でボーゼン自失のようです。鍵を開けたまま、ちょっと外出したスキにドロボーに入られたようなのです。次のうち、何が盗まれたと思いますか。

A　現金
B　恋人からもらったティファニーのペンダント
C　クレジットカード
D　下着

診断◉あなたの本性、イジワル度は？

〈Aを選んだ人〉
あなたは独立独歩のタイプで、本質的に他人のことに興味の薄い人のようです。だから結果的にイジワル度は20パーセント。

〈Bを選んだ人〉
あなたはかなりの意地悪。イジワル度90パーセント。子供の頃、いたずらの暗い過去がありませんか？

〈Cを選んだ人〉
あなたは今十分に幸せなのか友達を本気で心配できる心のゆとりがあるようです。10パーセント以下です。

〈Dを選んだ人〉
本質的に意地悪な所があります。無意識のうちに人を傷つけたり。70パーセント。

3.あなたは、友達と不思議の国にまぎれこんでしまいました。そこで、その国の女王様にクジを引いて当たった者に、この国で一番のごちそうと言われるスペシャル紅茶を飲んでもらおうと言われました。クジに当たったのはあなたでした。しかしその紅茶とはカエルがゲロゲロと吐き出して作るものだったのです。ドロドロしてるし、匂いも変…。アセるあなたに女王様は、「飲め」と言います。さてその時、A～Dの反応を見せるのは、一緒の友人のうちだれでしょうか。親しい友達の中から一人ずつ名前をあげていってください。

A　「飲めるわけないじゃないですか！」と女王に訴えてくれる
B　女王の気をそらし、あなたに紅茶を捨てるチャンスを作ってくれる
C　「私が飲みますか…」と代わりに申し出てくれる
D　紅茶が飲みやすくなるように、こっそり砂糖を渡してくれる

診断◉心の奥底で相手をどう思っている？

〈Aに選んだ人〉
あなたにとって尊敬の対象です。いざっというときはとっても頼りになるんだとあなたは思っているのです。

〈Bに選んだ人〉
同志、協力者というように感じています。気が合うパートナーのようです。

〈Cに選んだ人〉
よきライバルと思っている人です。自分と同じ実力の力と認めています。

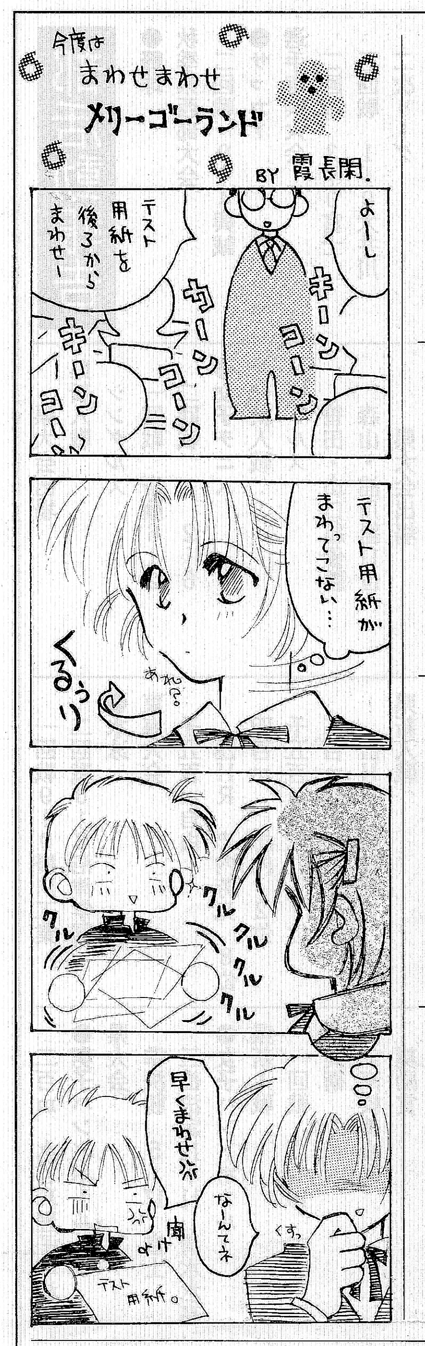
〈Dに選んだ人〉
一緒にいて楽しければいいと思っています。深いお付き合いをする相手じゃないと思っているようですね。

どんなに科学技術が発達し生活が便利になっても私たちが抱える悩みはなくなることはありません。むしろ不安やストレスはより重く、大きくなっているように思われます。

自分に自信を失ったり、将来に不安を感じたり、大好きな相手の心の中がわからなくなったり、友人との付き合い方に疑問を持ったり…。そんな時はいたずらに解決を急ぐのではなく、まず自分自身の「心」の中を冷静に見つめ直してみましょう。自分が何をしたいのかがはっきり分かれば、悩みへの解決策も自然と見えてくるはずです。

相手あっての悩みの場合は相手の表面的な態度や言葉ばかりでなく、相手の「心」を見つめる事が大切です。

「心」と言われてもうまく言い表す事ができないけれども、心理テストによって自分や周りの人の心が具体的に言葉で表されるため、心というものを少し知り安心できるのではないでしょうか。


今度は
まわせまわせ
メリーゴーランド
BY 霞長閑.
よーし
キーンコーン
カーンコーン
テスト用紙を後ろからまわせー
キーンコーン
テスト用紙がまわってこない…
あれ?
くるぅり
クル
クル
クル
クル
クル
クル
早くまわせ☆
なーんてネ
くすっ
南
テスト用紙。

感動の汗

マラソン大会

去る十一月十六日、真冬を思わせるような寒風の吹くなか今年のマラソン大会は開催された。今年も男子十km、女子六kmのコースを全校生徒が懸命に走りぬいた。女子の部では杉浦真澄さんが優勝を飾り、男子の部では藤田雅也君が圧倒的な走りで二連覇を成しとげた。2位の中村紀博君はなんとこの日が彼の誕生日だったそうだ。

男子第１位
20HR
藤田雅也

今年は、風が強くて、止まりそうだった。おなかが途中で痛くなり、ペースダウンしてしまった。しかし、後ろにいた、ライバル○さんも、おなかが痛くなったらしく、ペースダウンして差を縮められることなく、ゴールできた。

来年は、夏で陸上部を引退することになるけど、その後も毎日少しでも走り、引退後も体力が衰えることのないようにし、来年もまたいい順位をとれるようにがんばりたいと思う。

女子第１位
22HR
杉浦真澄

優勝できて、とてもうれしかったです。走っている途中何度もくじけそうになったけれど、優勝したいという気持ちが強かったので頑張ることができました。寒い日だったので、体を十分に暖めておいたのが良かったと思います。最後の田んぼ道のところでは風が強くて、なかなか前へ進むことができなくて苦しかったけれど、ゴールした時には頑張ってよかったなと思いました。終わってから、友達が優勝したお祝いに温かい飲み物をおごってくれたのがとてもうれしかったです。

男子の部

二位	中村　紀博	28	陸上
三位	青島　寛太	20	陸上
四位	岩城　秀康	38	陸上
五位	堀野　英明	18	陸上
六位	石塚　昇平	11	陸上
七位	高部　弘康	39	陸上
八位	野島茂一郎	37	陸上
九位	柴田　匡哉	16	陸上
十位	半田　陽三	34	陸上

女子の部

二位	山川　郁枝	25	陸上
三位	金沢　みほ	21	陸上
四位	榊原　裕乃	21	バスケ
五位	森山　綾子	10	テニス
六位	山田紗都子	36	食物
七位	小原由紀子	25	テニス
八位	鈴木　美鈴	13	ハンド
九位	太田　記代	28	手芸
十位	田光　佐織	11	バスケ

論説

自然のススメ

あなたは、近ごろ〝自然観察〟をしているだろうか。何も大げさな事ではない。自分の身近の、ちょっとした自然を気にとめているだろうか。自然とは、さがしに行ったり見に行くものではない。あなたの家の前にある木が、あなたにとっての自然なのだ。ちょっとした気分転換に、今、部屋にいたかっこうで、ちょっと運動靴をはいて〝自然観察〟へ出かけてみよう。

自然観察とは、知識を試す作業ではない。本で得た知識や、図鑑で見た物を確認する作業では決してないのだ。自然観察とは、その土地の自然を、自分の中に発見する事。日ごろ見すごしている、ちょっとした物を、新鮮な気持ちで見直して、新たな事を発見する事なのだ。そして、その一つ一つが意外な所で関わり合って、一つの大きな自然を形成している事を見つける事だろう。それが、自然観察である。そういう意味では、自然観察に図鑑など無意味でじゃまなだけなのだ。もし、見たことのない物を見つけたら、自分で名前をつければ、いいではないか。その方が、よりいっそう自然に対しての愛着がわくだろう。ただ、誤解されると困るが、何も本当の名前を軽視しろと言っているわけではない。生物名を知る事は、自然観察のひとつの手段なのであって、生物名を知る事だけに情熱を傾けるような形での自然観察にしないでほしいと思っているのだ。

では、少し自然観察の例をあげてみる事にしよう。まずは、感覚でその対象物をとらえてみるといい。ここが茎で、ここが花弁でなどというのではなく、表象的に、とらえてほしい。〝かっこいい〟とか〝かわいい〟とか、そんな感じでいいんだ。できればスケッチをしておくといいかもしれない。上手でなくても感覚がつかめればいいんだ。できれば採らないでほしい。その生物だけでなくその生物が、その場所に存在する姿を大事にしてもらいたい。最後に、〝自分の自然〟をぜひもってもらいたい。日本人はとかく人と同じ場所に行こうとする。そうではなくて、人が行かない、自分だけの場所をつくってもらいたい。昔つくった秘密基地みたいにね。